

診ているのは、
見えない空気です。



きれいにしよう日本の空を

日本空調サービス株式会社

Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

2018年3月期
(2017.4~2018.3)
決算説明資料

2018年6月

東証1部・名証1部：4658

日本空調グループについて

目的：全ステークホルダーの幸せ向上



エンドユーザーの幸せ向上

- ・施設を安心して快適に利用できる
- ・最適な環境で製造された製品を利用できる

顧客にとっての価値向上

- ・ニーズに沿って建物の環境が最適化される
- ・省エネ・省コストに繋がる

日本空調グループによるサービス提供

- ・お客様に安心感を与える最適な環境を維持
- ・技術力と人的資源を結集させ、高品質サービスを提供

日本空調サービス株式会社

- ★設立：1964年4月28日
- ★本社：愛知県
- ★資本金：1,139百万円
- ★社員数：連結 2,967名・単体 1,744名
- ★売上高：連結 454億円・単体 306億円
- ★拠点数：国内 83拠点・海外11拠点

※社員数は、2018年3月末現在の数値となります。
 ※売上高は、2018年3月期の数値となります。
 ※拠点数は、2018年5月末現在の数値（連結・住所ベース）となります。

- 株 価：789円
- 時価総額：276億円
- 配当金：1株当たり23円
- 配当性向：50.4%
- 配当利回り：2.92%
- 株主数：5,688名
- P E R：17.3倍
- P B R：1.72倍
- R O E：10.0%

※株価及び時価総額は、2018年6月1日終値を使用しております。
 ※配当金、配当性向及び配当利回りは、2019年3月期配当予想値を使用しております。
 ※株主数は、2018年3月末現在の数値となります。
 ※PERは2019年3月期予想値、PBR、ROEは2018年3月期実績値を使用しております。

連結子会社 (国内7社、海外9社)	設 立	本 社	出資比率 (%)
日本空調システム(株)	1975.10	愛知県	100.0
(株)日本空調岐阜	1976.10	岐阜県	100.0
(株)日本空調北陸	1977.10	富山県	100.0
(株)日本空調東北	1977.9	宮城県	100.0
(株)日本空調東海	1979.6	静岡県	100.0
日空ビジネスサービス(株)	1999.4	愛知県	100.0
イーテック・ジャパン(株)	2002.2	東京都	100.0
蘇州日空山陽機電技術有限公司	1999.1	中国	80.6
上海日空山陽国際貿易有限公司	2011.10	中国	80.6(80.6)
NACS BD Co., Ltd.	2015.8	バングラデシュ	100.0(88.9)
Evar Air-conditioning & Engineering Pte Ltd *	1989.7	シンガポール	100.0(100.0)
NACS Singapore Pte. Ltd.	2016.3	シンガポール	100.0
NACS TPS ENGINEERING CO., LTD.	2016.6	タイ	49.0(49.0)
NIPPON KUCHO SERVICES (M) SDN. BHD.	2017.3 (出資)	マレーシア	100.0(100.0)
NACS ENGINEERING VIETNAM CO., LTD.	2017.11 (出資)	ベトナム	100.0(100.0)
NACS Engineering Myanmar Co., Ltd.	2017.11 (出資)	ミャンマー	100.0(100.0)

※ 出資比率の欄の()内は間接保有比率であり内数であります。
 * 2015年11月に同社の株式を取得し子会社化しております。

ビルメンテナンス業界
約3.8兆円

ココに
特化

一般清掃

約2.3兆円 (約6割)

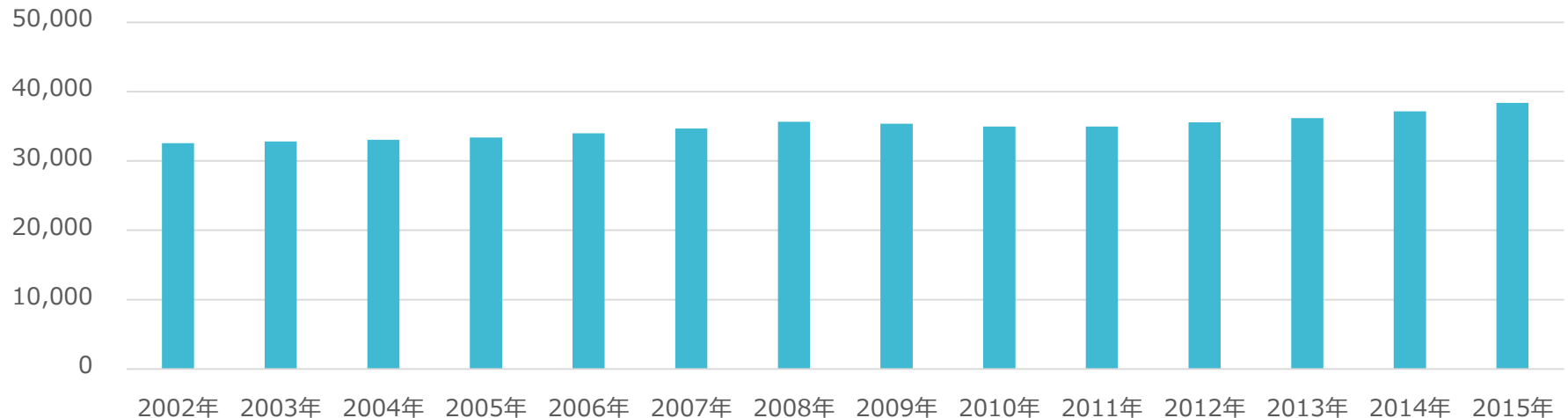
保安警備他

約0.8兆円 (約2割)

設備管理

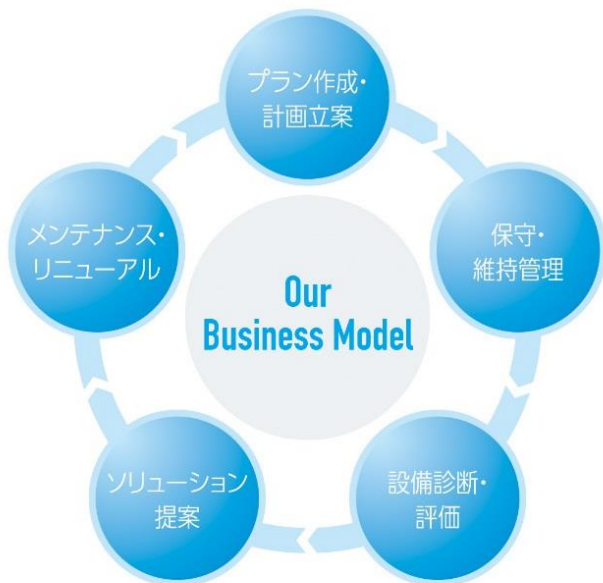
約0.7兆円 (約2割)

■ビルメンテナンス業界の総売上 (億円)



※全国ビルメンテナンス協会「歴年の業界の総売上げ」、「歴年の実態調査の概況」の推計値を用いて計算しております。

診ているのは、見えない空気です。

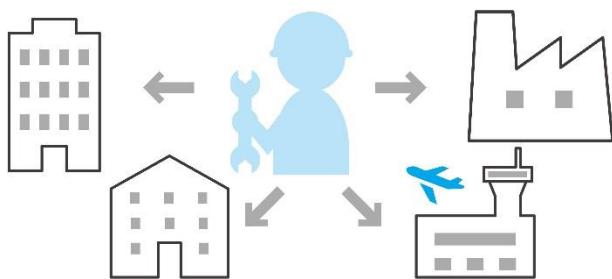


Management Philosophy

お客様に安心感を与える最適な環境を維持するために、技術力と人的資源を結集させ、高品質サービスを提供する。

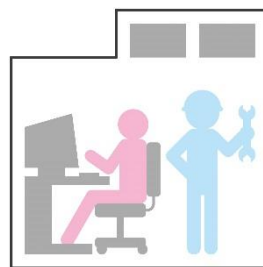
当社グループは、建物設備のメンテナンス・維持管理、設備・環境診断、ソリューション提案を行うサービス部門を中核に、リニューアル工事を主体とする設備工事部門を併せ持つ、建物設備のトータルサポート企業です。中核事業のメンテナンスサービスで培った技術力を生かし、お客様の立場に立ったきめ細かなサービスを提供します。

PM 保守 Preventive Maintenance



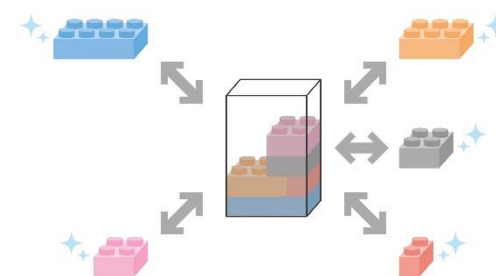
確かな技術力で“万が一”を未然に防ぐ、高品質メンテナンス。

FM 保守・管理 Facility Management



求められる環境を維持するために、常に見守ることも私たちの技術。

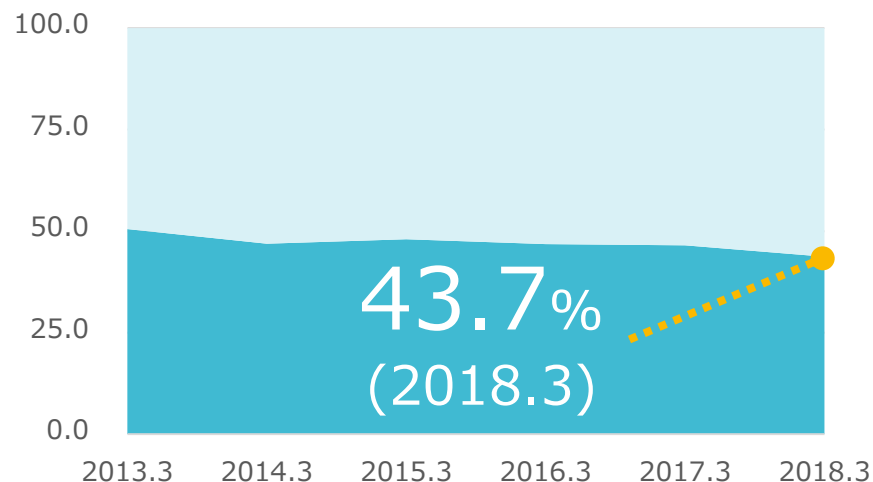
RAC 設計・施工 Reform and Construction



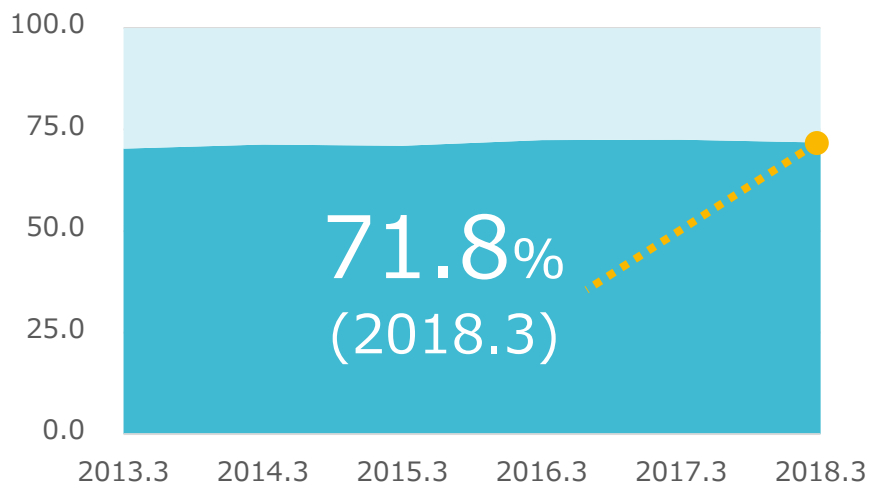
あらゆるビルの快適環境創造に、いつも最適なお提案と施工を。

- ① **独立系企業グループ**のため
メーカー問わず対応可能
- ② 売上高の**約半分が年間契約**
- ③ 維持管理に**高度な技術力**を必要とする
特殊な環境を有する施設の比率が高い
- ④ 特殊な環境を有する大型病院の
全国シェアが**12.2%**

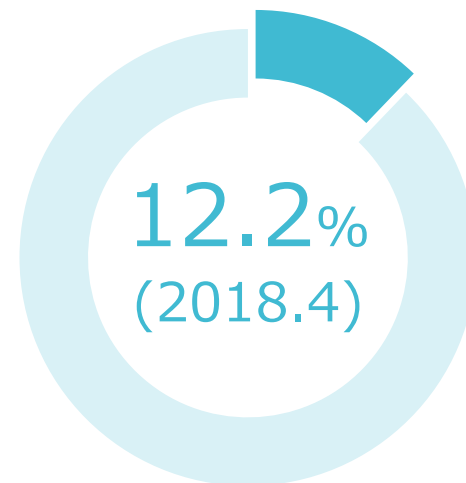
■ 年間契約売上高比率 (%)



■ 特殊な環境を有する施設の売上高比率 (%)



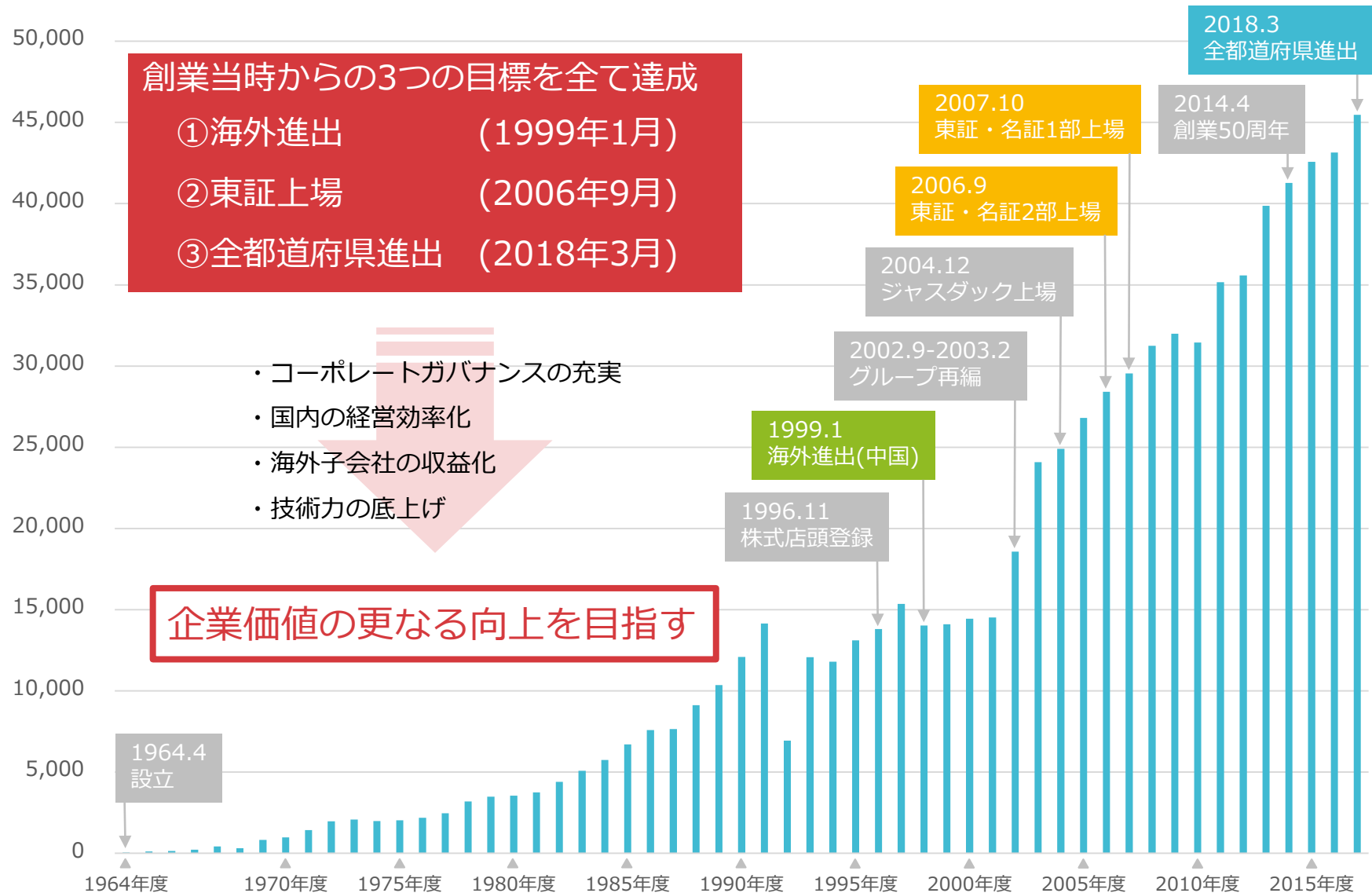
■ 国内600床以上の病院におけるシェア (%)



※「特殊な環境を有する施設」とは「病院及び研究施設」「製造工場等」「特殊建築物」を指しています。

※全国の600床以上の病院における当社グループの受託割合(病床数ベース)です。
※22,920床 / 188,265床で算出しております。

■売上高 (百万円)



※1969年度(第6期)及び1992年度(第30期)は、6カ月の変則決算です。 ※1996年11月の株式店頭登録以降は外部監査を受けております。

診ているのは、見えない空気です。

連結業績ハイライト

(2018年3月期：2017.4～2018.3)

総括

- 売上高 前年同期比 **5.4%増**
7期連続過去最高

リニューアル工事が大幅増

- 営業利益 前年同期比 **3.6%増**
4期連続過去最高

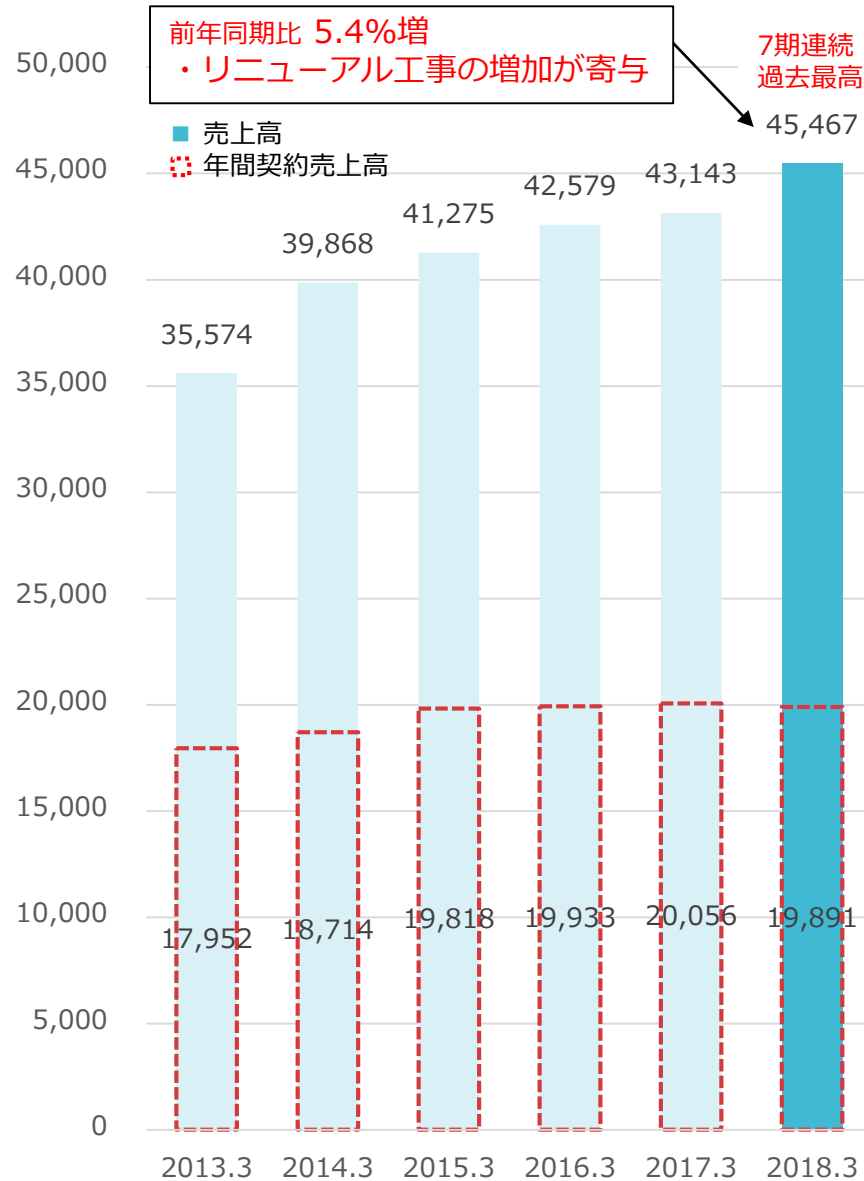
海外展開費用かさむも国内好調

(百万円)

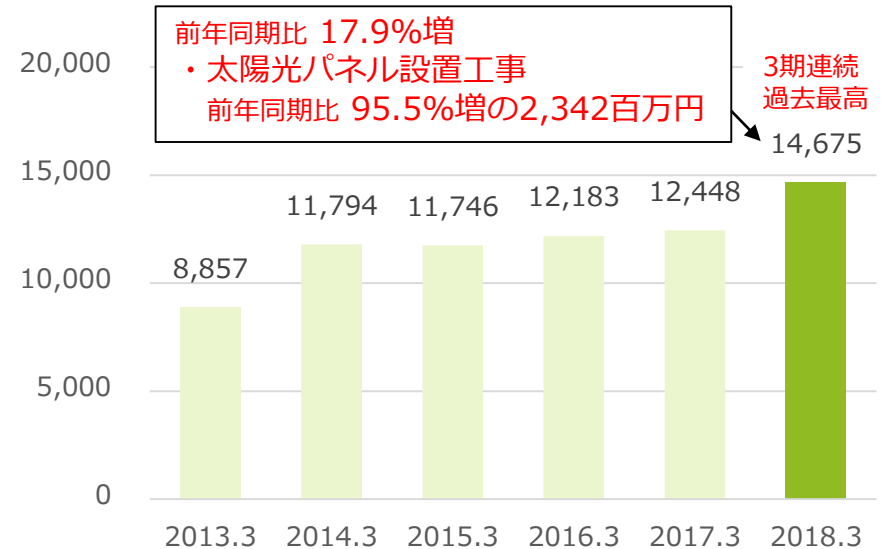
連結 (累計期間)	2016年3月期			2017年3月期			2018年3月期		
	金額	売上高 比率	前年同期比 増減率	金額	売上高 比率	前年同期比 増減率	金額	売上高 比率	前年同期比 増減率
売上高	42,579	100.0%	3.2%	43,143	100.0%	1.3%	45,467	100.0%	5.4%
メンテナンスサービス 売上高	30,396	71.4%	2.9%	30,695	71.1%	1.0%	30,792	67.7%	0.3%
リニューアル工事 完成工事高	12,183	28.6%	3.7%	12,448	28.9%	2.2%	14,675	32.3%	17.9%
売上総利益	7,465	17.5%	6.9%	7,806	18.1%	4.6%	8,224	18.1%	5.4%
販売費及び一般管理費	5,142	12.1%	6.3%	5,411	12.5%	5.2%	5,743	12.6%	6.1%
営業利益	2,323	5.5%	8.4%	2,394	5.6%	3.1%	2,481	5.5%	3.6%
経常利益	2,378	5.6%	7.4%	2,482	5.8%	4.4%	2,579	5.7%	3.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	918	2.2%	-22.6%	1,497	3.5%	63.0%	1,561	3.4%	4.2%

※2011年3月期より、セグメントを単一としておりますが、ここでは種類別として表示しております。

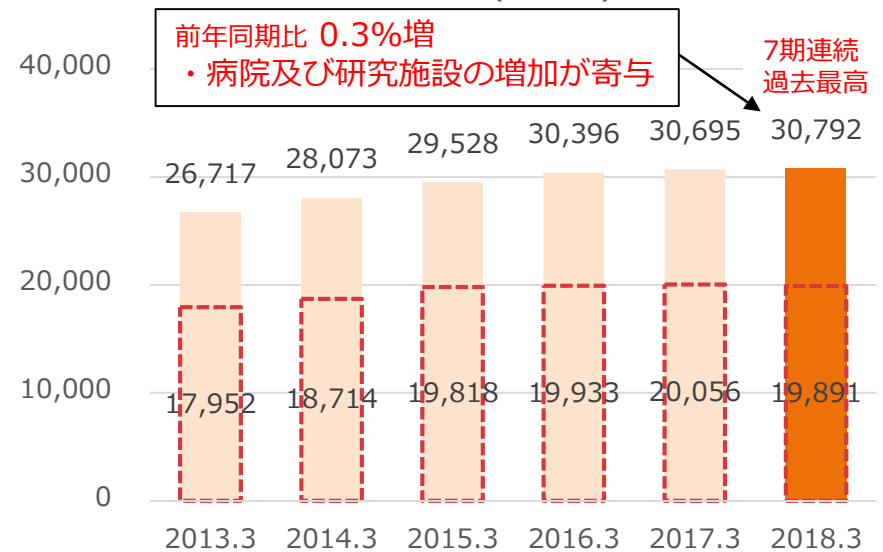
■売上高 (百万円)



■リニューアル工事完成工事高 (百万円)

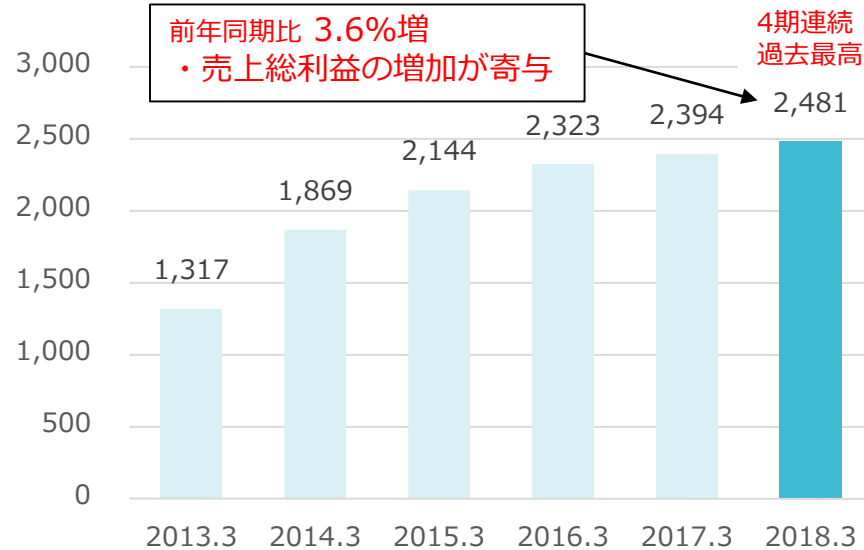


■メンテナンスサービス売上高 (百万円)

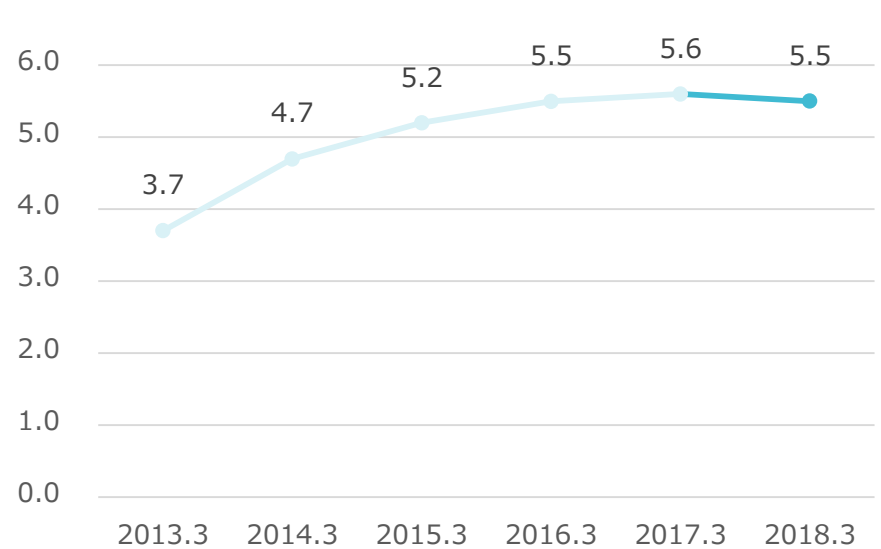


※2011年3月期より、セグメントを単一としておりますが、ここでは種類別として表示しております。

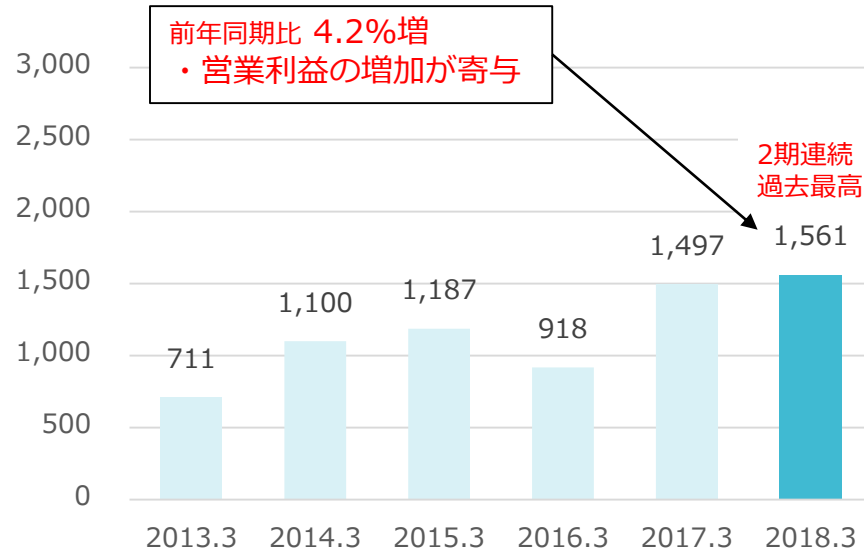
■ 営業利益 (百万円)



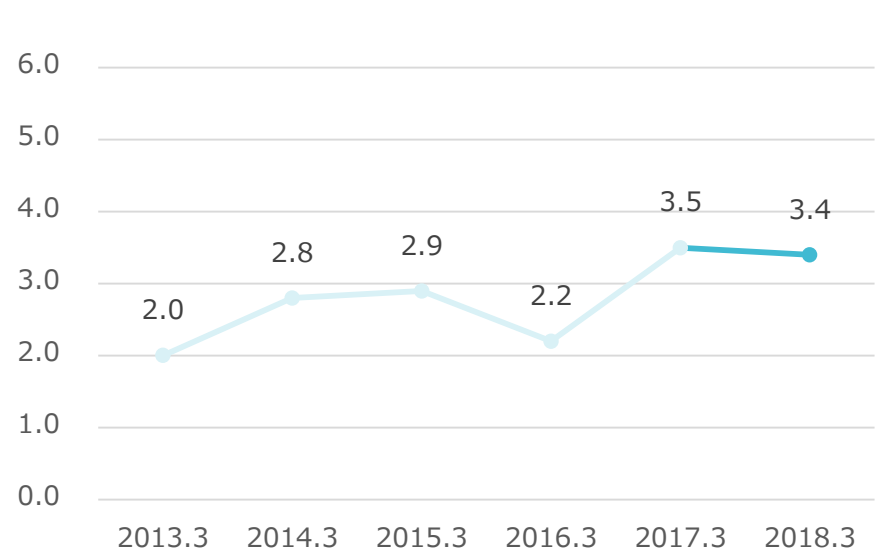
■ 営業利益率 (%)



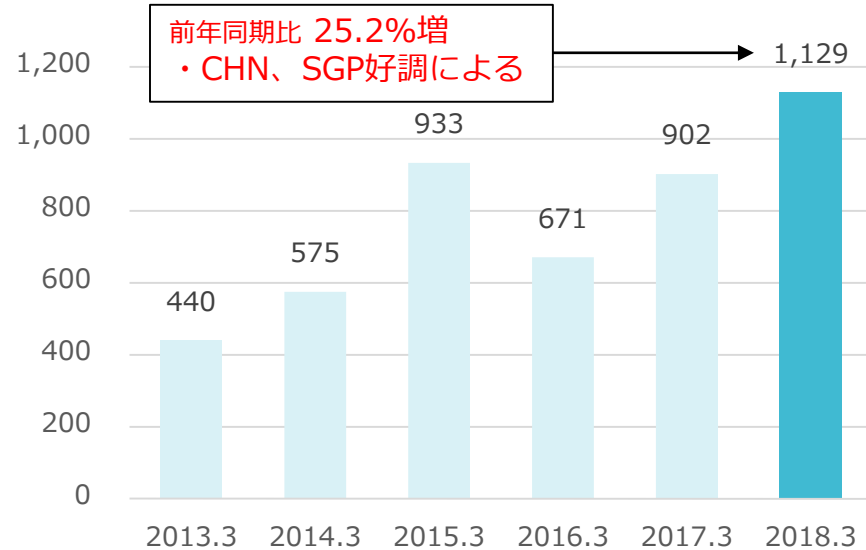
■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



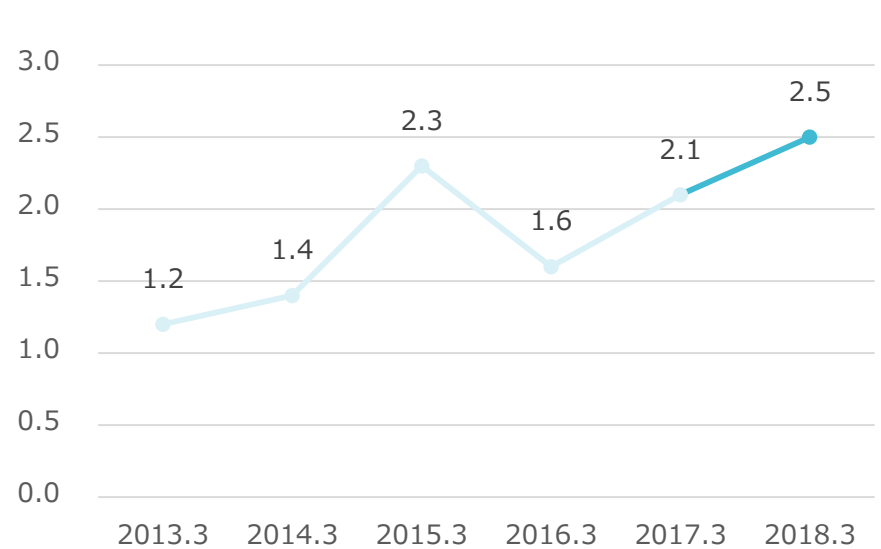
■ 親会社株主に帰属する当期純利益率 (%)



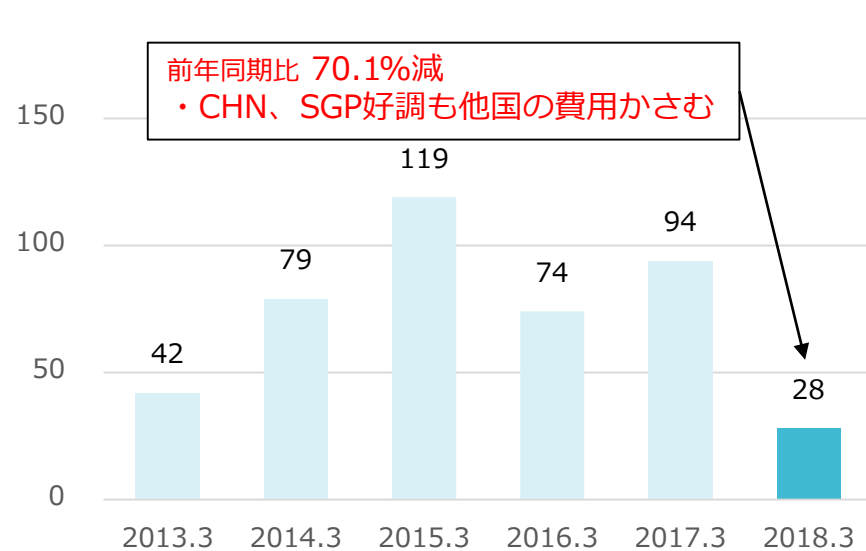
■ 海外売上高 (百万円)



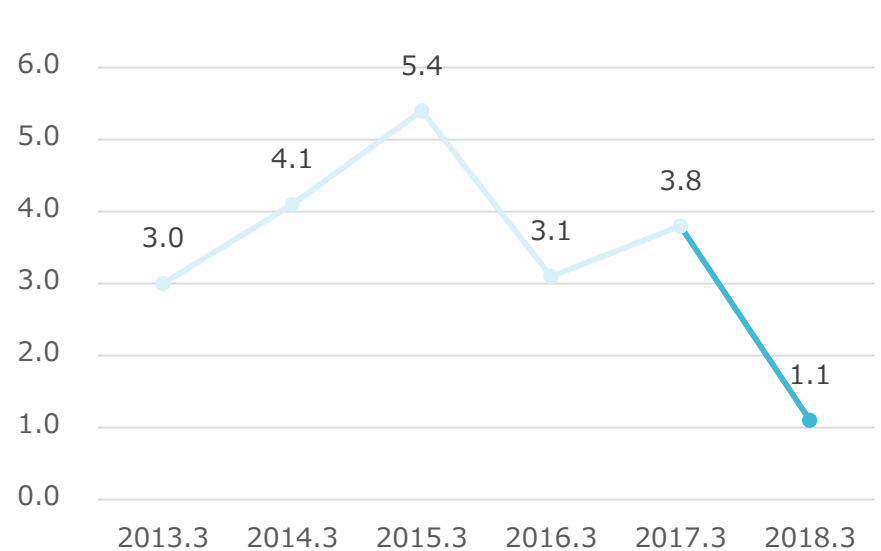
■ 海外売上高比率 (%)



■ 海外経常利益 (百万円)



■ 海外経常利益比率 (%)



連結業績予想

(2019年3月期：2018.4～2019.3)

ビジョン

- 2016中期3カ年経営計画の達成
売上高**480億円**、営業利益**25億円**
- 新たな中期経営計画の策定
- 海外の収益化
数年以内に海外経常利益比率**10%**

(百万円)

連結 (累計期間)	2017年3月期			2018年3月期			2019年3月期(予想)		
	金額	売上高 比率	前年同期比 増減率	金額	売上高 比率	前年同期比 増減率	金額	売上高 比率	前年同期比 増減率
売上高	43,143	100.0%	1.3%	45,467	100.0%	5.4%	48,000	100.0%	5.6%
メンテナンスサービス 売上高	30,695	71.1%	1.0%	30,792	67.7%	0.3%	33,000	68.8%	7.2%
リニューアル工事 完成工事高	12,448	28.9%	2.2%	14,675	32.3%	17.9%	15,000	31.2%	2.2%
売上総利益	7,806	18.1%	4.6%	8,224	18.1%	5.4%	8,500	17.7%	3.4%
販売費及び一般管理費	5,411	12.5%	5.2%	5,743	12.6%	6.1%	6,000	12.5%	4.5%
営業利益	2,394	5.6%	3.1%	2,481	5.5%	3.6%	2,500	5.2%	0.8%
経常利益	2,482	5.8%	4.4%	2,579	5.7%	3.9%	2,600	5.4%	0.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,497	3.5%	63.0%	1,561	3.4%	4.2%	1,600	3.3%	2.5%

※2011年3月期より、セグメントを単一としておりますが、ここでは種類別として表示しております。

2016中期3カ年経営計画 (2016.4~2019.3)

ビジョンと戦略

- ビジョン
全てのステークホルダーの幸せ向上

- 戦略
 - ① 技術力の底上げ
 - ② グループの連携強化
 - ③ 海外展開
 - ④ コーポレート・ガバナンスの充実

2019年
3月期
までの目標



454億円
(2018.3)

売上高480億円・営業利益25億円
経常利益26億円・親会社株主に帰属する当期純利益16億円

44.54円
(2018.3)

1株当たり当期純利益45円

※2016年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行ったことによる調整をしております。

2018年
3月期
までの目標



51.6%
(2018.3)

連結配当性向50%

Clear!!

71.8%
(2018.3)

特殊な環境を有する施設の売上高比率75%以上

全都道府県
進出
(2018.3)

全都道府県に営業拠点網展開

Clear!!

技術力向上に向けて

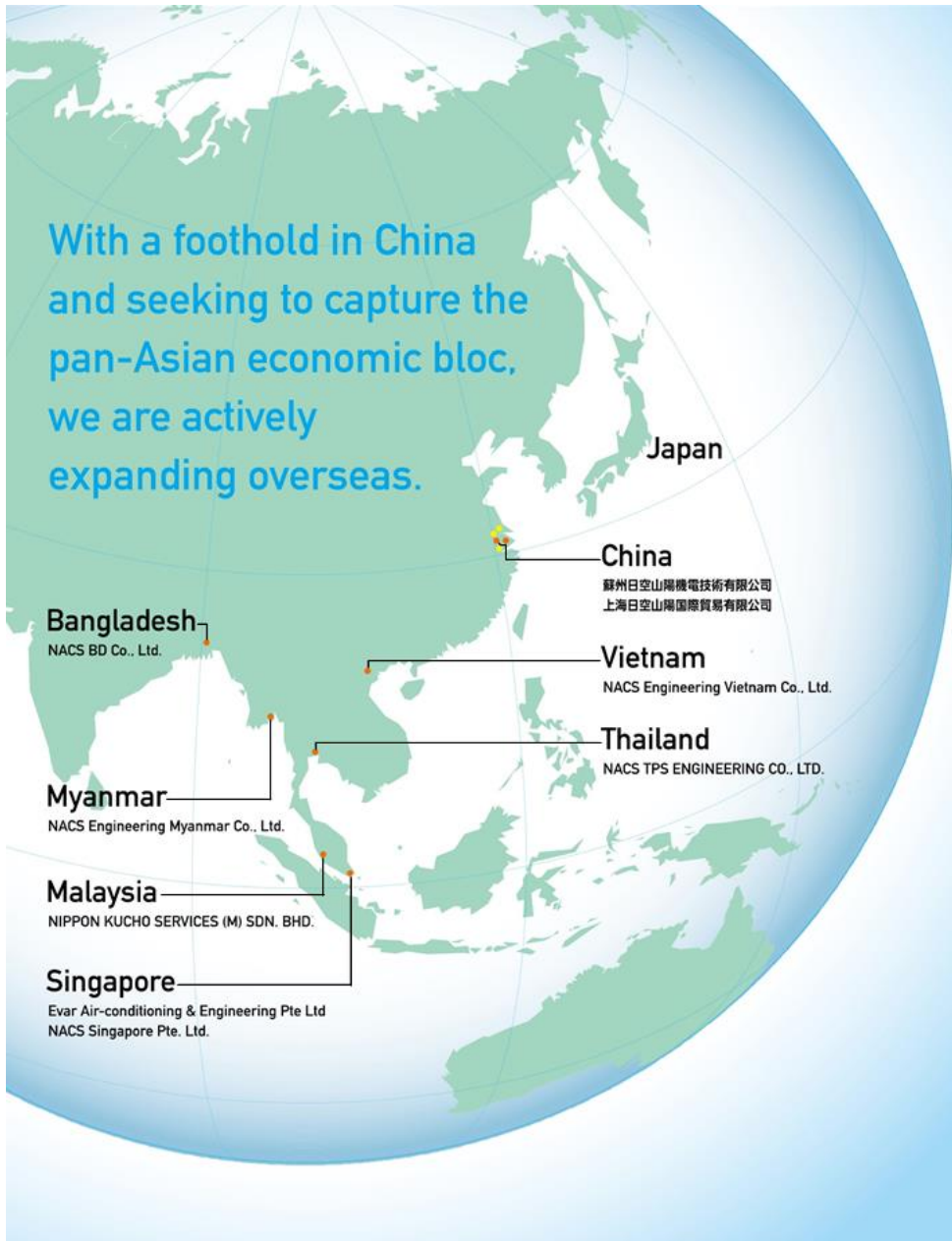
- 高度な技術の習得や提案力強化（社内ネットワークを最大限活用）
- ベテラン社員の経験・技術の伝承（マスター制度）
- 新人・社員教育（10年カリキュラムの作成）
- OJT（実態に即した対策を講じる）
- デスクワークの効率化（基幹システムのリニューアル）

★技術力の全体的な底上げを図る

グループの連携強化

- 関連会社をエリア毎に分けることで連携強化
 - ・ 情報の共有化
 - ・ 技術の交流を深める

★お客様のニーズに確実に応えられる体制の構築を図る



現在、連結経常利益の**98.9%**を**国内**で稼いでおり、4期連続過去最高と、堅調に推移しています。

しかし、2020年以降も国内だけで好調を維持していけるとは考えていません。

そのため、国内が好調なうちに**積極的な海外展開**を実施し、新たな収益基盤の構築に注力しています。

近い将来、連結経常利益における**海外比率10%**を目指し努めてまいります。

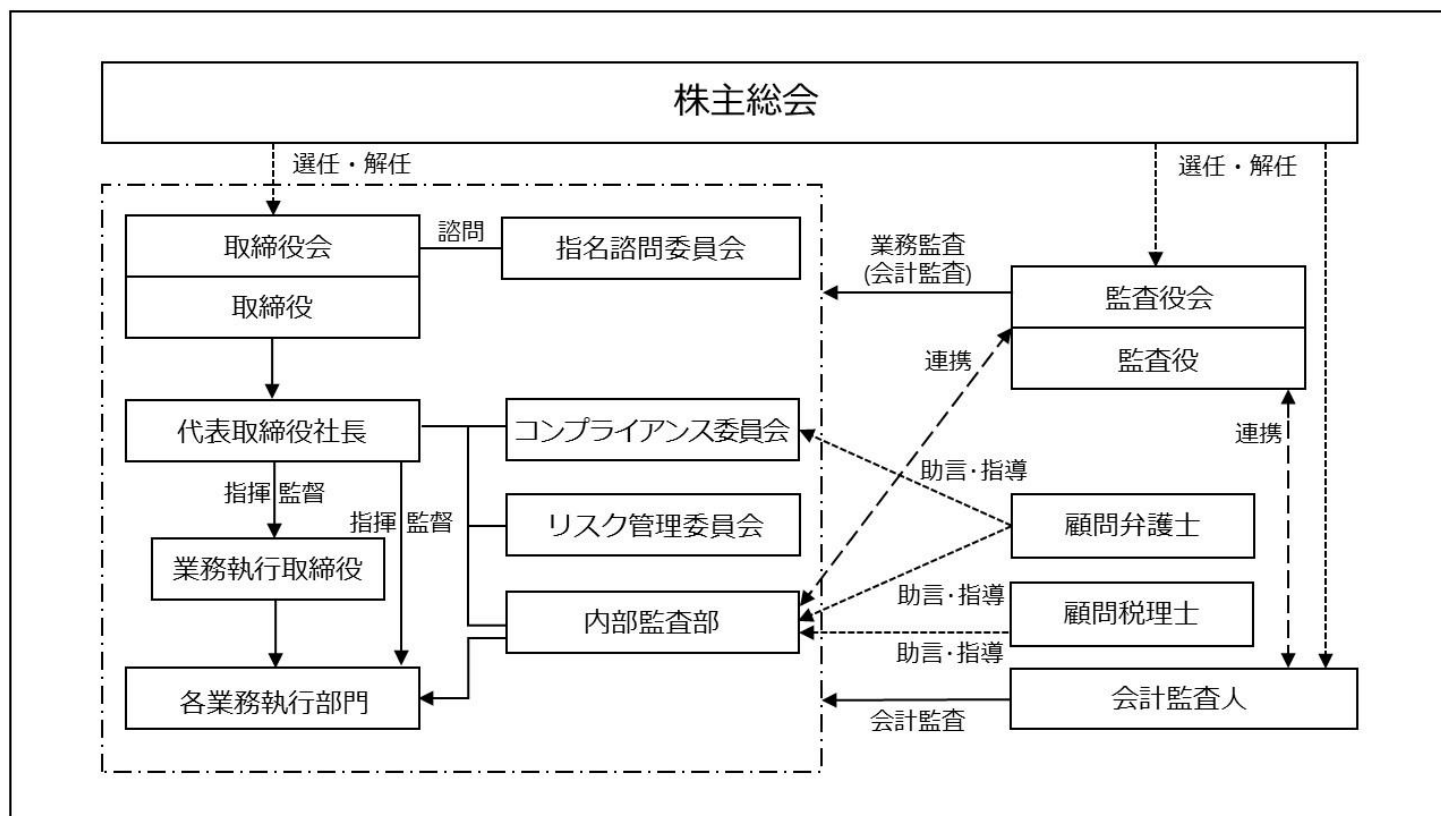
・代表取締役の在任期間	通算6年まで
・代表取締役候補者の選定	社外取締役を中心とした指名諮問委員会が選定
・取締役の在任期間	通算10年まで
・役員候補者推薦の条件	5親等までの親族が従業員に在籍していないこと等

【組織形態】
監査役会設置会社

【取締役関係】
取締役 10名
(うち社外2名)

【監査役関係】
監査役 4名
(うち社外2名)

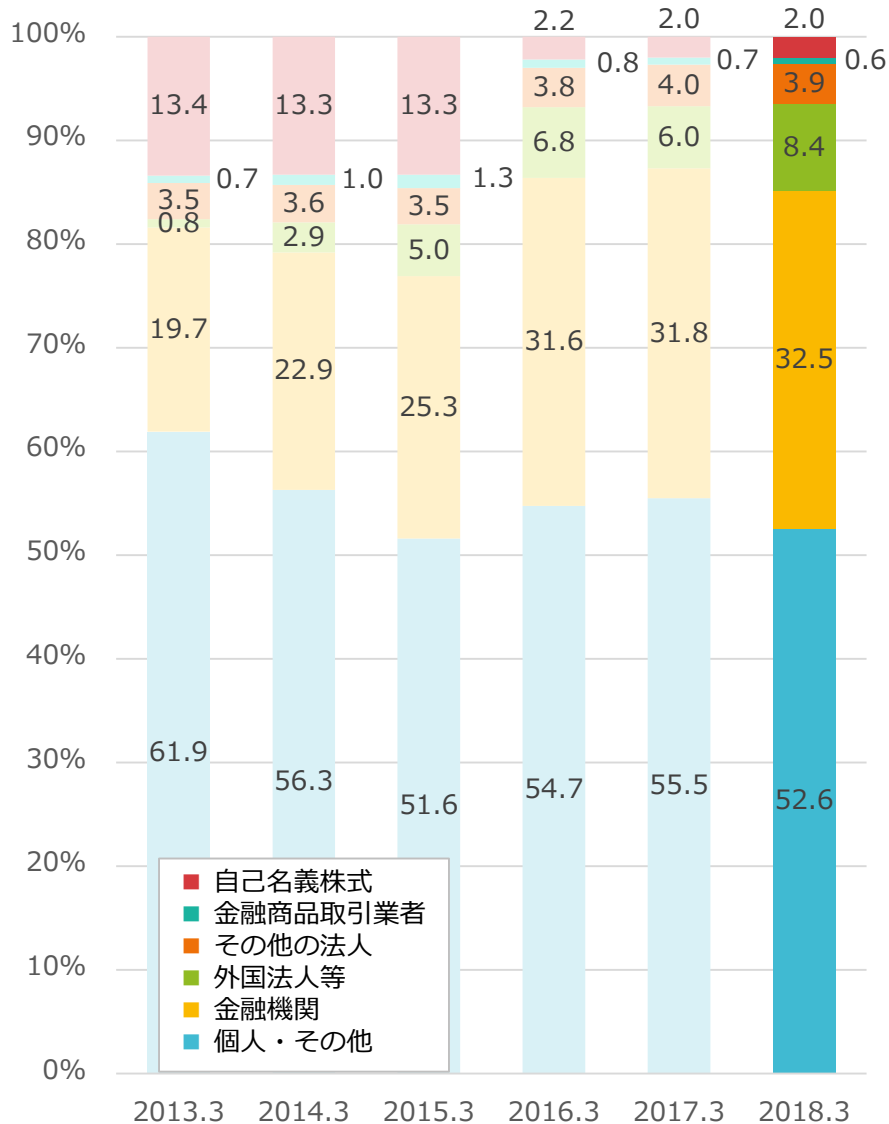
【独立役員関係】
独立役員 4名



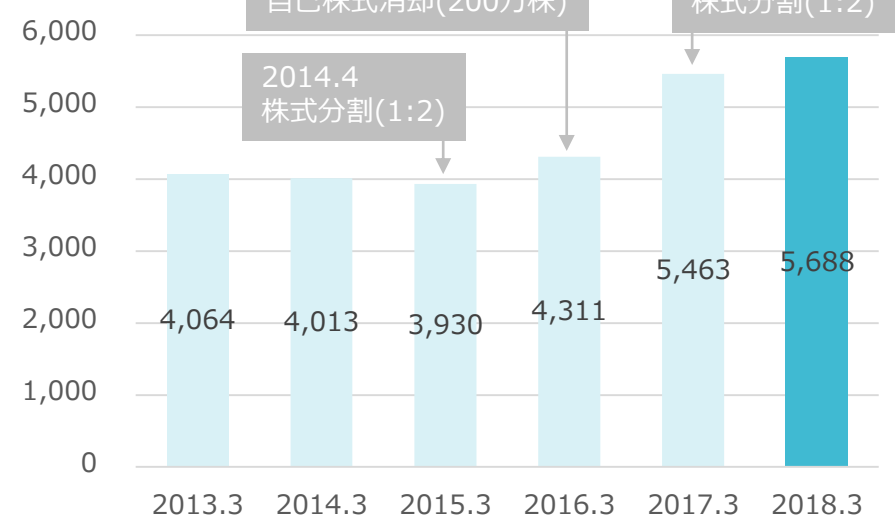
株式情報

(2018年3月31日現在)

■所有者別株式分布状況 (%)



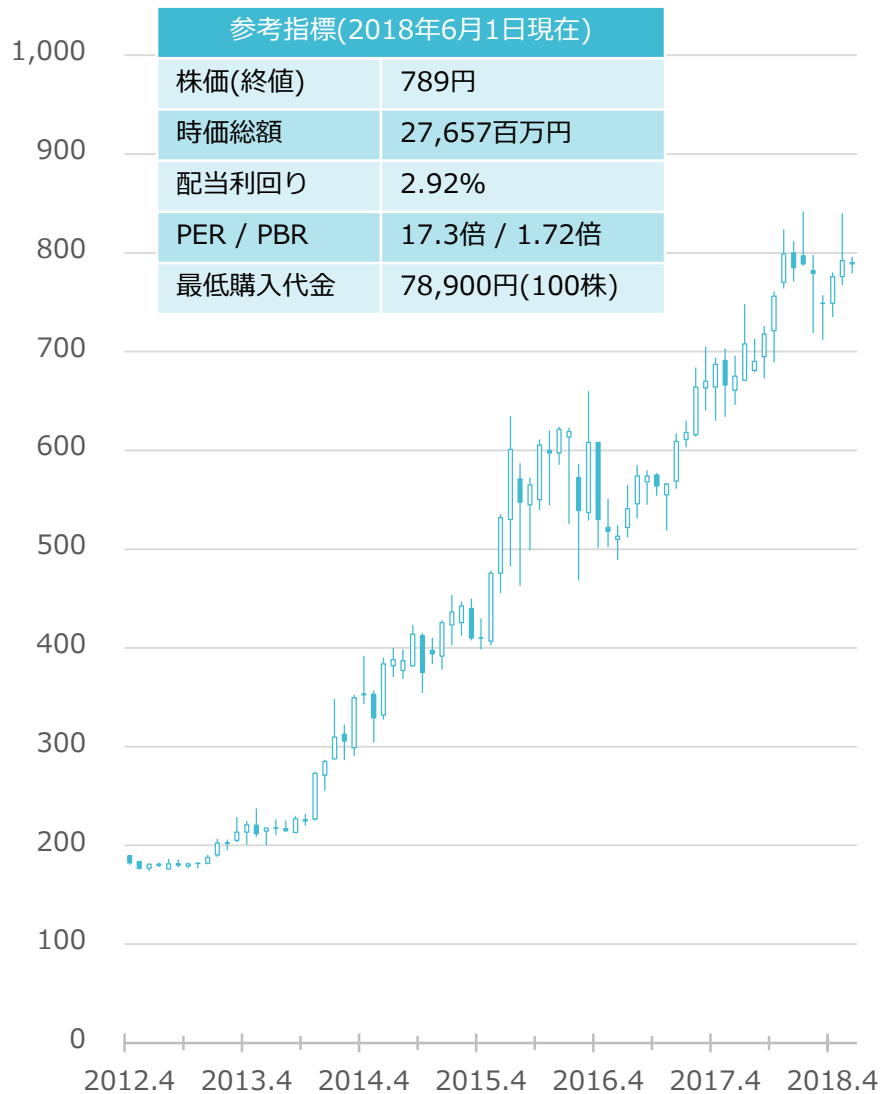
■株主数 (名)



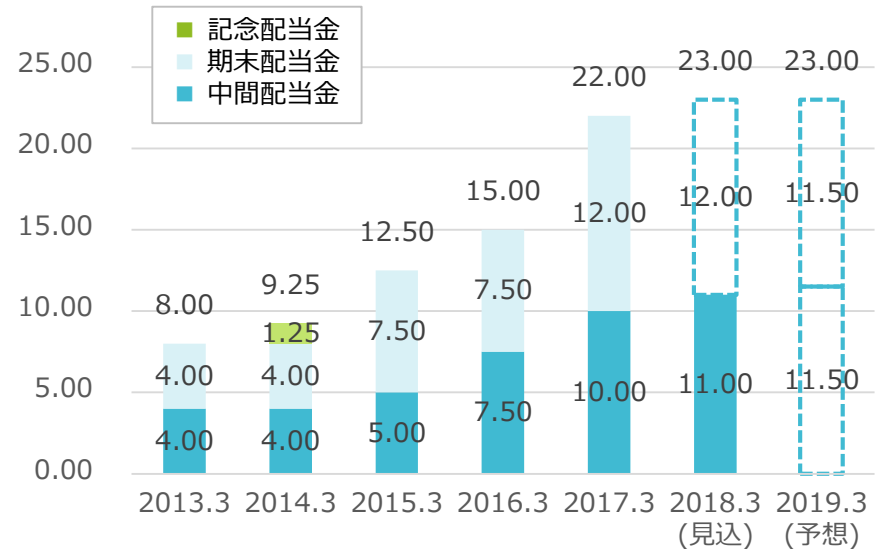
大株主	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本空調サービス従業員持株会	3,028	8.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,449	6.8
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,640	4.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,479	4.1
株式会社愛知銀行	1,336	3.7
東京海上日動火災保険株式会社	1,128	3.2
岐阜信用金庫	800	2.2
KIA FUND 136	718	2.0
岡地 修	578	1.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	481	1.3

※当社は自己株式(709千株・2.0%)を保有しておりますが、大株主からは除外しております。
 ※株式会社三菱東京UFJ銀行は、2018年4月1日付で株式会社三菱UFJ銀行に商号を変更しております。

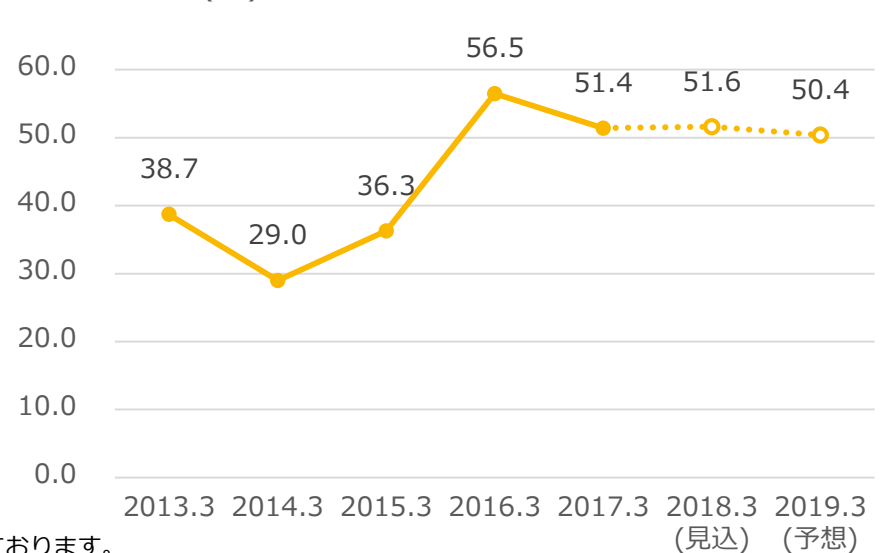
■ 株価 (円)



■ 配当金 (円)



■ 配当性向 (%)

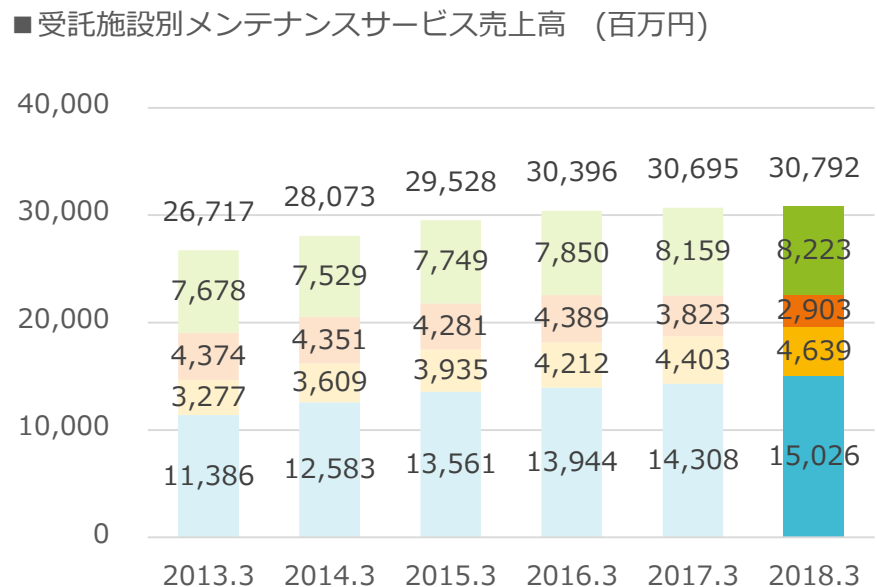
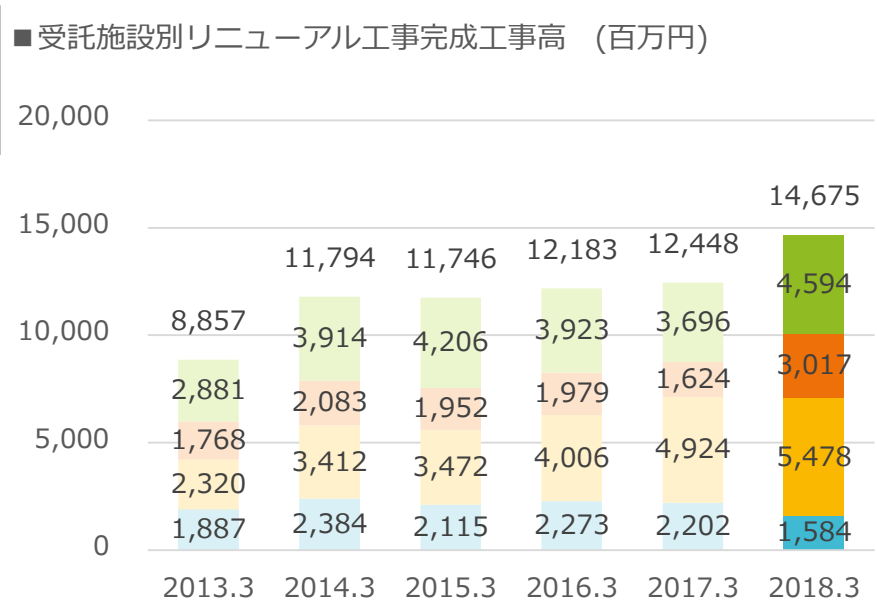
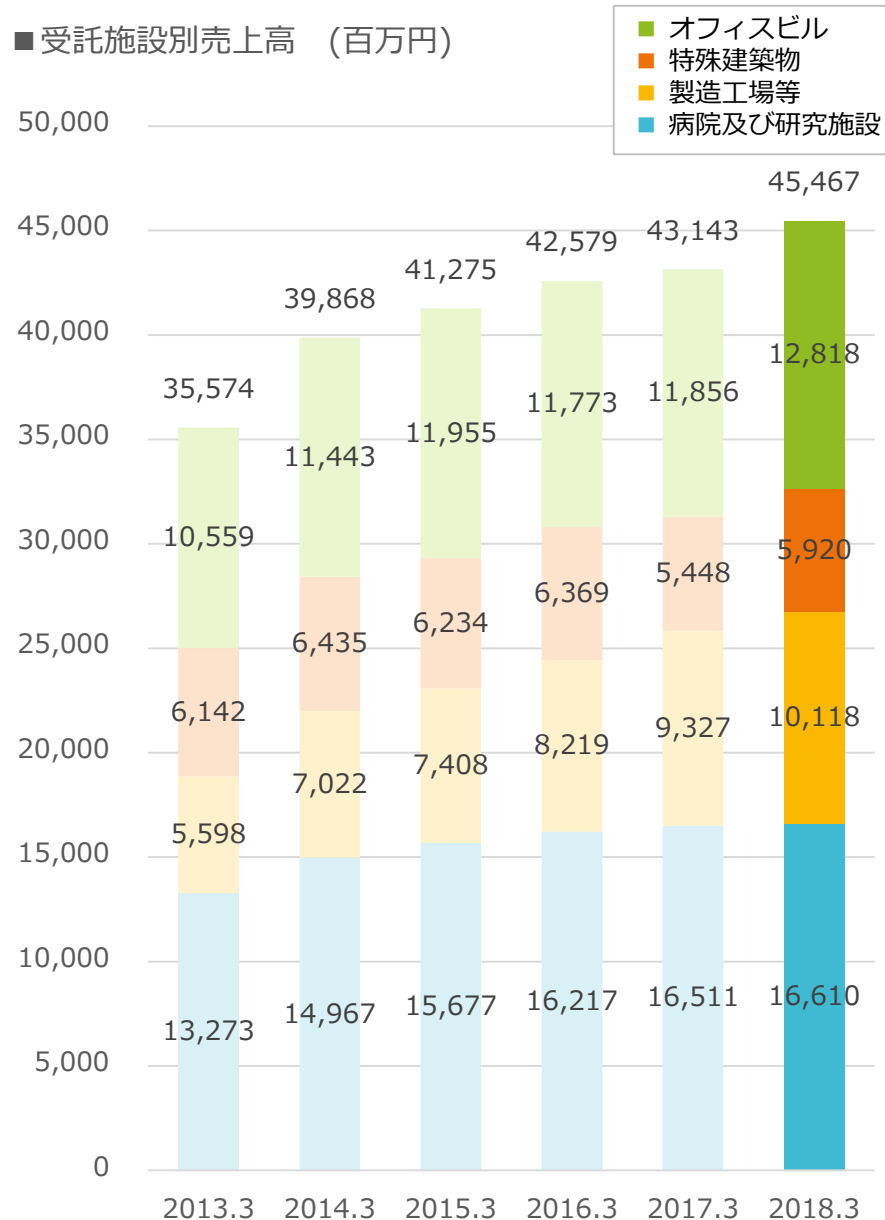


※2014年4月1日付、2016年4月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っており、2016年3月期以前の株価につきましては、上記株式分割を調整しております。

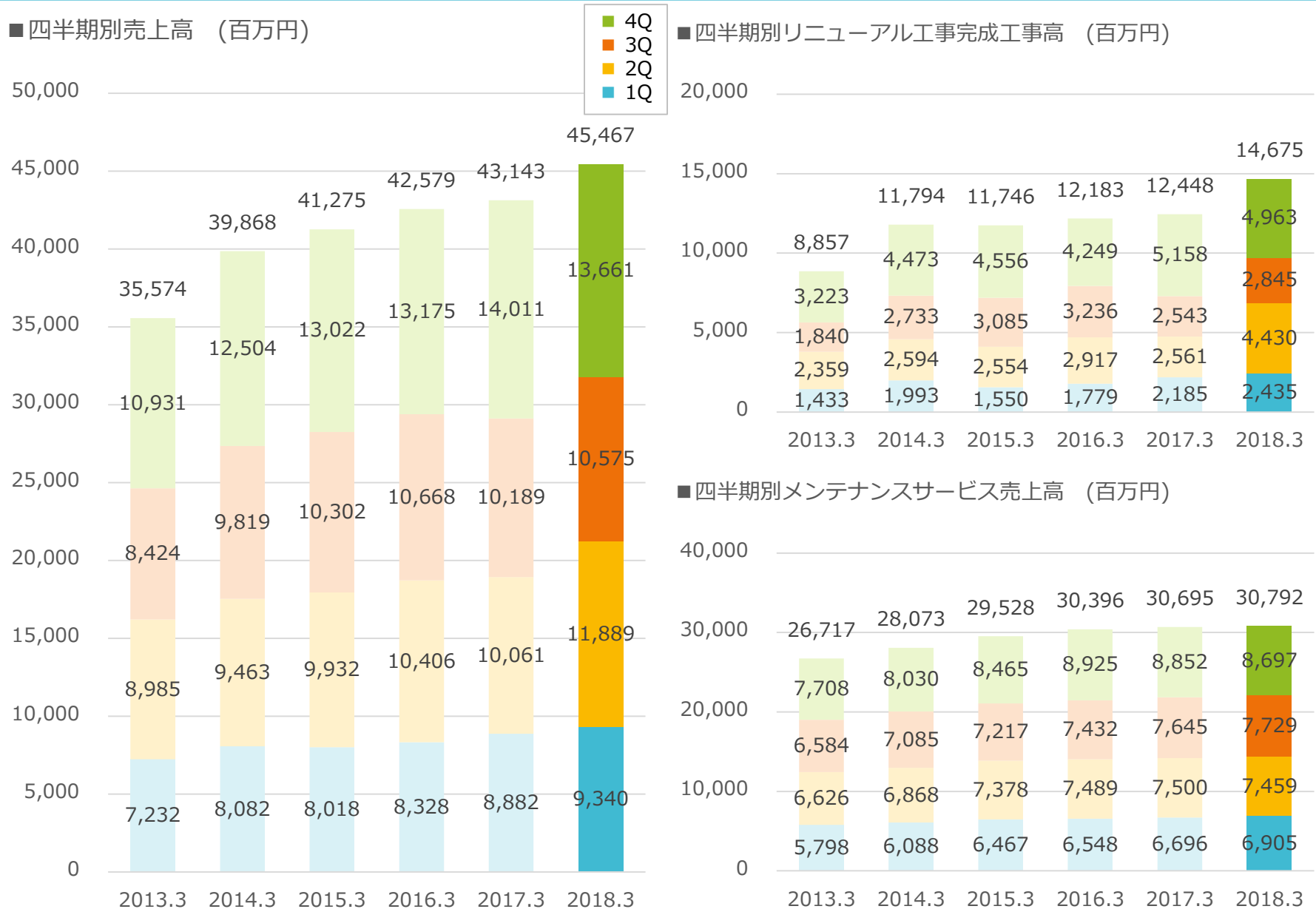
※PERは2019年3月期予想値、PBRは2018年3月期実績値を使用しております。

※2018年6月1日現在の配当利回りにつきましては、2019年3月期の1株当たり配当金(予想)で算出しております。

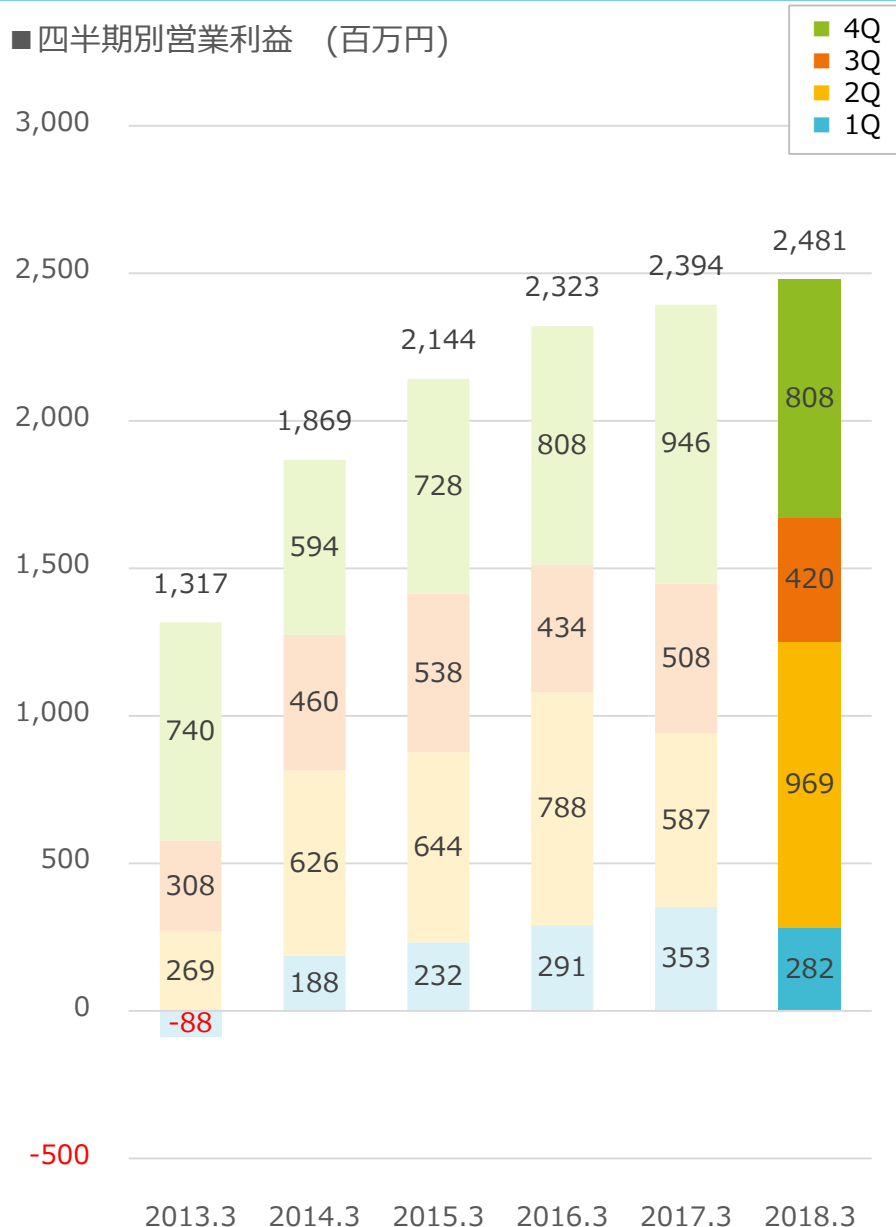
参考資料



※2011年3月期より、セグメントを単一としておりますが、ここでは種類別として表示しております。



※2011年3月期より、セグメントを単一としておりますが、ここでは種類別として表示しております。

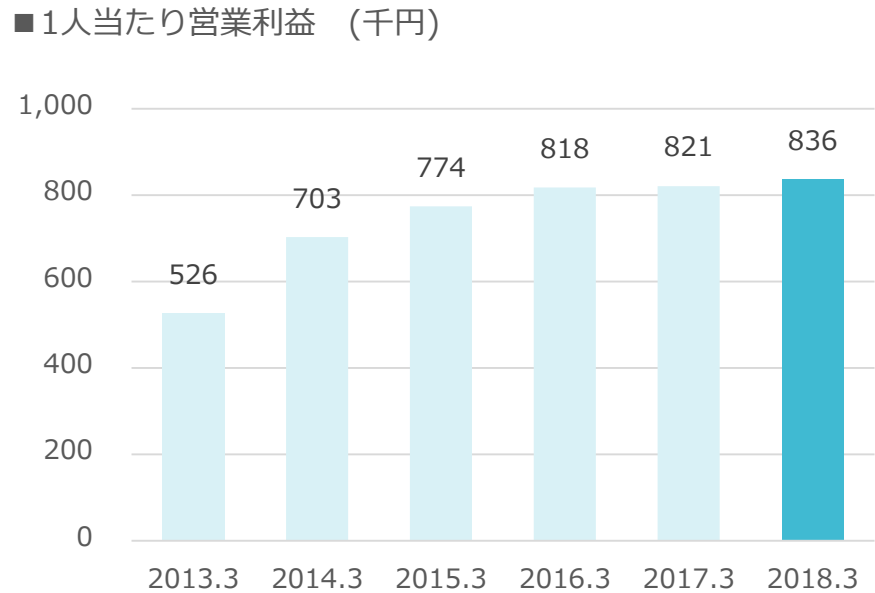
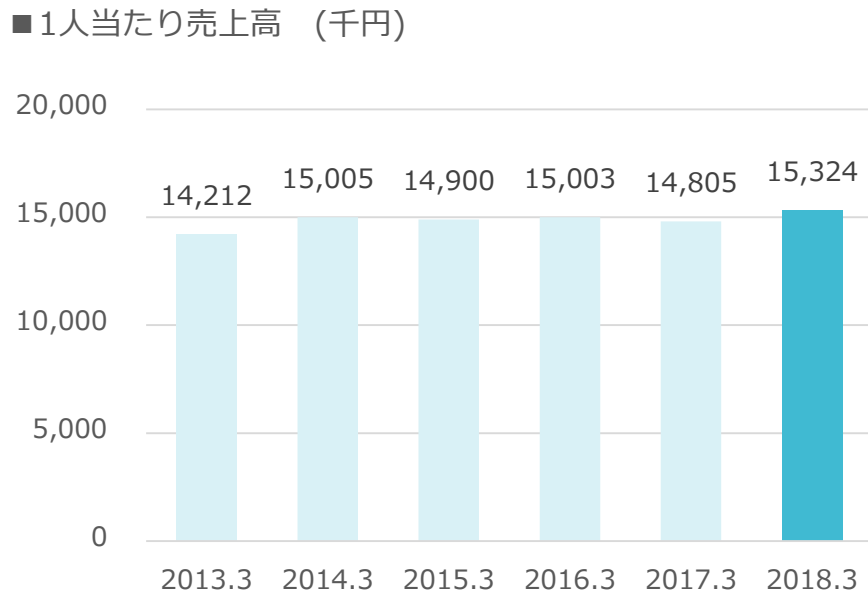
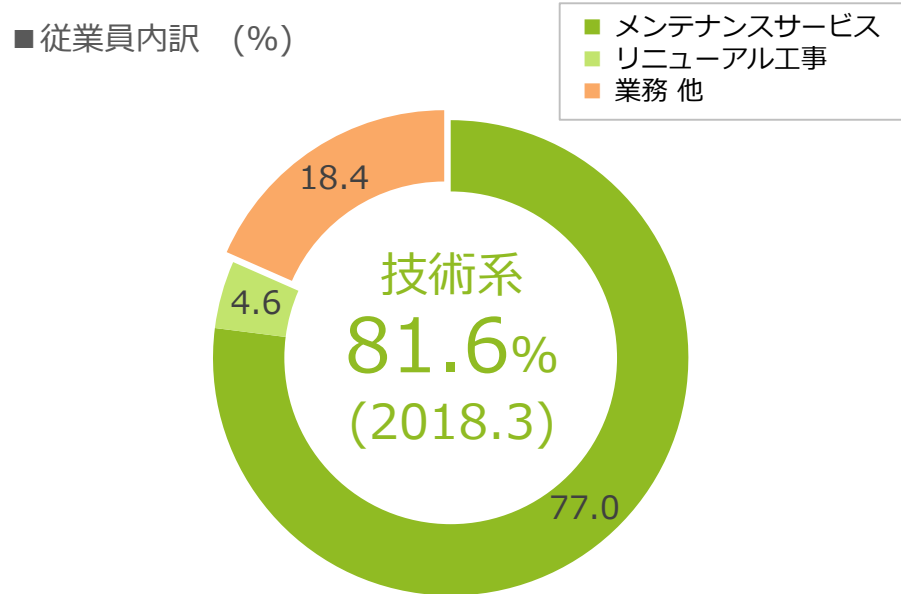
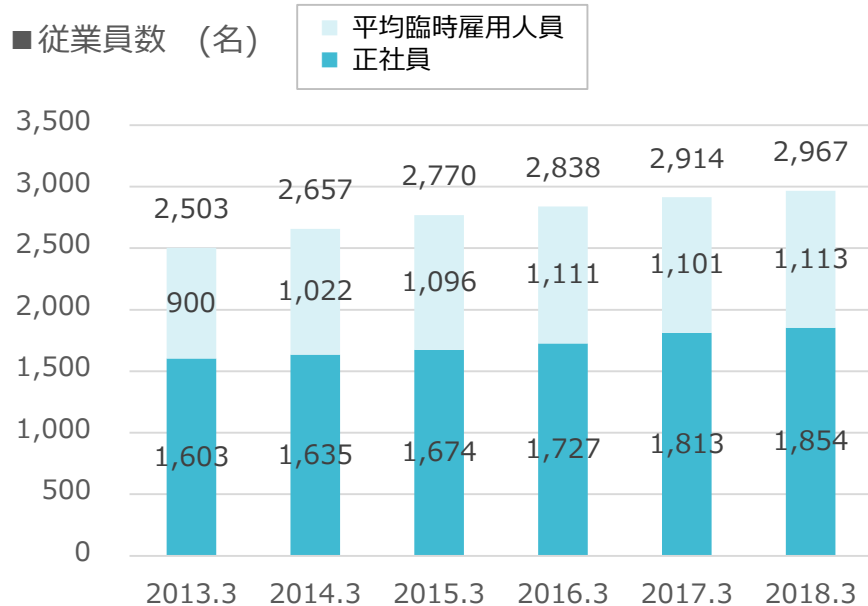


①売上高全体のおよそ半分を占める年間契約の売上原価発生のタイミングが均等ではないため、四半期毎の営業利益の変動幅は大きくなる。

②セグメントを単一としているため、セグメント別での営業利益は管理していないが、種類別の売上総利益率はメンテナンスサービス、リニューアル工事ともに改善している。

連結 (累計期間)	2016.3	2017.3	2018.3
売上総利益率	17.5%	18.1%	18.1%
メンテナンスサービス 売上総利益率	19.3%	19.7%	20.0%
リニューアル工事 売上総利益率	13.2%	14.1%	14.1%

※2013年3月期につきましては、第2四半期の実質営業利益は357百万円ですが、第1四半期が-88百万円のため、グラフ上では269百万円としております。



※1人当たり売上高及び1人当たり営業利益は、連結売上高及び連結営業利益を連結従業員数(正社員+平均臨時雇用人員)で除した数値です。

<http://www.nikku.co.jp>

IR担当：総務部広報チーム

TEL：052-773-2513 FAX：052-778-4554

E-mail：ir4658@nikku.co.jp

本資料は、日本空調サービス株式会社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本資料に含まれる内容の更新・修正を行う義務を負うものではありません。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に記載の数値は、全て連結で表記しております（別途、注記がある場合を除く）。

本資料は、提供されましたご本人様限りでご利用ください。本資料のいかなる部分についても一切の権利は当社に帰属しており、電子的もしくは機械的にまたはその他の方法を問わず、本資料の全部または一部を、無断で引用、複製または転送等により使用しないようお願いいたします。